

平成 27 年 11 月 15 日（日）施行

## 第 141 回 日商簿記検定試験 2 級 解説

### 第 1 問

1. 期末配当金の受取 → 受取配当金

入金額（源泉所得税 20%控除後）→ 当座預金  $300,000 \times (100\% - 20\%) = 240,000$

源泉所得税 20%（法人税等の前払い）→ 仮払法人税等  $300,000 \times 20\% = 60,000$

2. 工事代金は小切手により支払済み、建設仮勘定と処理されている。工事完成後、固定資産等の勘定に振り替える。なお、共通工事費は、各勘定の金額比で配賦する。

建 物： $800,000 \times 5,000,000 / (5,000,000 + 2,000,000 + 1,000,000) = 500,000$

構築物： $800,000 \times 2,000,000 / (5,000,000 + 2,000,000 + 1,000,000) = 200,000$

修繕費： $800,000 \times 1,000,000 / (5,000,000 + 2,000,000 + 1,000,000) = 100,000$

3. 仕入割戻は、未収金に計上しており、これを相殺して、掛代金の残額を普通預金から支払った。

未収金（仕入割戻）：300,000

普通預金： $2,200,000$ （買掛金 2,500,000 - 未収金 300,000）

4. 商品の購入 → 仕入

研究開発専用の備品購入 → 研究開発費

税抜方式により、仮払消費税の計上  $(3,200,000 +) \times 8\% = 304,000$

商品購入の未払代金 → 買掛金  $3,200,000 + 3,200,000 \times 8\% = 3,456,000$

備品購入の未払代金 → 未払金  $600,000 + 600,000 \times 8\% = 648,000$

5. 前期末に商品保証引当金を計上しており、これを相殺して、引当金を超過する部分は、当期の費用（商品保証費）と処理する。

商品保証費： $1,150,000 - 1,000,000 = 150,000$

## 第2問

問1 売買目的有価証券勘定および有価証券利息勘定の記入（残高式）

① 平成26年5月1日 有価証券の購入

(借) 売買目的有価証券	98,600,000	(貸) 未払金	98,720,000
有価証券利息	120,000		

売買目的有価証券： $100,000,000 \times 98.6 / 100 = 98,600,000$

有価証券利息：問題文より 120,000

② 平成26年6月30日 有価証券利息の振込

(借) 普通預金	180,000	(貸) 有価証券利息	180,000
----------	---------	------------	---------

$100,000,000 \times 0.36\% \times 6 \text{ か月 (平成26年1月1日} \sim \text{6月30日)} / 12 \text{ か月} = 180,000$

③ 平成26年10月31日 有価証券の売却

(借) 未収金	29,286,000	(貸) 売買目的有価証券	29,580,000
有価証券売却損	330,000	有価証券利息	36,000

売買目的有価証券： $30,000,000 \times 98.6 / 100 = 29,580,000$  ※1

有価証券利息：問題文より 36,000

未収金： $30,000,000 \times 97.5 / 100 + 36,000 = 29,286,000$

有価証券売却損： $29,580,000 (\text{※}1) - 30,000,000 \times 97.5 / 100 = 330,000$

④ 平成26年12月31日 有価証券利息の振込

(借) 普通預金	126,000	(貸) 有価証券利息	126,000
----------	---------	------------	---------

$(100,000,000 - 30,000,000 \text{ 【売却分】}) \times 0.36\% \times 6 \text{ か月 (平成26年7月1日} \sim \text{12月31日)} / 12 \text{ か月} = 126,000$

⑤ 平成27年1月30日 有価証券の売却

(借) 未収金	39,292,000	(貸) 売買目的有価証券	39,440,000
有価証券売却損	160,000	有価証券利息	12,000

売買目的有価証券： $40,000,000 \times 98.6 / 100 = 39,440,000$  ※2

有価証券利息：問題文より 12,000

未収金： $40,000,000 \times 98.2 / 100 + 12,000 = 39,292,000$

有価証券売却損： $39,440,000 (\text{※}2) - 40,000,000 \times 98.2 / 100 = 160,000$

⑥ 平成27年3月31日 決算整理仕訳

(借) 売買目的有価証券	60,000	(貸) 有価証券評価益	60,000
--------------	--------	-------------	--------

有価証券の額面総額： $100,000,000 - \text{売却分} 30,000,000 - \text{売却分} 40,000,000 = 30,000,000$  ※3

時価評価： $30,000,000 (\text{※}3) \times (\text{時価} 98.80 - \text{取得原価} 98.60) / 100 = 60,000$

(借) 未収有価証券利息	27,000	(貸) 有価証券利息	27,000
--------------	--------	------------	--------

利息の見越計上： $30,000,000 (\text{※}3) \times 0.36\% \times 3 \text{ か月 (平成27年1月1日} \sim \text{3月31日)} / 12 \text{ か月} = 27,000$

⑦ 平成27年4月1日 再振替仕訳

(借) 有価証券利息	27,000	(貸) 未収有価証券利息	27,000
------------	--------	--------------	--------

## ◆売買目的有価証券の次期繰越

売買目的有価証券			
26.5.1	98,600,000	26.10.31	29,580,000
27.3.31	60,000	27.1.30	39,440,000
		27.3.31	29,640,000
	98,660,000		98,660,000

## ◆有価証券利息の損益

有価証券利息			
26.5.1	120,000	26.6.30	180,000
27.3.31	261,000	26.10.30	36,000
		26.12.31	126,000
		27.1.30	12,000
		27.3.31	27,000
	381,000		381,000

## 問2 当期の有価証券売却損益

上記 ③	平成 26 年 10 月 31 日	売却損	330,000
上記 ⑤	平成 27 年 1 月 30 日	売却損	160,000
		売却損	490,000

## 問3 仮に、購入した国債を満期まで保有する目的で取得するし、売却せずに期末を迎えた場合

## ① 平成 26 年 5 月 1 日 有価証券の購入

(借) 満期保有目的債券	98,600,000	(貸) 未払金	98,720,000
有価証券利息	120,000		

満期保有目的債券： $100,000,000 \times 98.6 / 100 = 98,600,000$

有価証券利息：問題文より 120,000

## ② 平成 26 年 6 月 30 日 有価証券利息の振込

(借) 普通預金	180,000	(貸) 有価証券利息	180,000
----------	---------	------------	---------

$100,000,000 \times 0.36\% \times 6 \text{ か月 (平成 26 年 1 月 1 日 ~ 6 月 30 日)} / 12 \text{ か月} = 180,000$

## ③ 平成 26 年 12 月 31 日 有価証券利息の振込

(借) 普通預金	180,000	(貸) 有価証券利息	180,000
----------	---------	------------	---------

$100,000,000 \times 0.36\% \times 6 \text{ か月 (平成 26 年 7 月 1 日 ~ 12 月 31 日)} / 12 \text{ か月} = 180,000$

## ④ 平成 27 年 3 月 31 日 決算整理仕訳

(借) 満期保有目的債券	275,000	(貸) 有価証券利息	275,000
--------------	---------	------------	---------

$(100,000,000 - 100,000,000 \times 98.60 / 100) \times 11 \text{ か月} (\text{※} 1) / 56 \text{ か月} (\text{※} 2) = 275,000$

※1：11 か月（平成 26 年 5 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

※2：56 か月（平成 26 年 5 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）

## ◆当期末時点での満期保有目的債券勘定の次期繰越

取得原価  $98,600,000 + 275,000 = 98,875,000$

(借) 未収有価証券利息	90,000	(貸) 有価証券利息	90,000
--------------	--------	------------	--------

$100,000,000 \times 0.36\% \times 3 \text{ か月(平成 27 年 1 月 1 日} \sim \text{3 月 31 日)} / 12 \text{ か月} = 90,000$

◆有価証券利息の当期発生額：

上記 ①	平成 26 年 5 月 1 日	△	120,000
上記 ②	平成 26 年 6 月 30 日	+	180,000
上記 ③	平成 26 年 12 月 31 日	+	180,000
上記 ④	平成 27 年 12 月 31 日	+	275,000
	平成 27 年 12 月 31 日	+	90,000
			605,000

### 第3問

決算整理

#### 1. 手形取立の未記帳

(借) 当座預金	20,000	(貸) 受取手形	20,000
----------	--------	----------	--------

#### 2. 売掛金の貸倒れ

(借) 貸倒引当金	7,000	(貸) 売掛金	9,000
貸倒損失	2,000		

前期分：貸倒引当金（前期末に設定している引当金を補てんする）

当期分：貸倒損失（当期の損失）

#### 3. 貸倒引当金の設定

(借) 貸倒引当金繰入	1,420	(貸) 貸倒引当金	1,420
-------------	-------	-----------	-------

$(\text{受取手形 } 80,000 - 20,000 + \text{売掛金 } 130,000 - 9,000) \times 2\% - (9,200 - 7,000) = 1,420$

#### 4. 売上原価の計算・商品の評価

(借) 仕入	41,000	(貸) 繰越商品	41,000
繰越商品	39,600	仕入	39,600
棚卸減耗損	480	繰越商品	480
商品評価損	978	繰越商品	978

帳簿棚卸高(期末)：330個 × @120 = 39,600

棚卸減耗損：(330個 - 326個) × @120 = 480

商品評価損：(@120 - @117) × 326個 = 978

#### 5. 消耗品の処理

(借) 消耗品費	9,000	(貸) 消耗品	9,000
----------	-------	---------	-------

購入時に「消耗品」に計上しているため、使用分を「消耗品」から「消耗品費」に振替える。

購入額 15,000 - 未使用分 6,000 = 使用分 9,000

#### 6. 消費税の処理（税抜方式）

(借) 仮受消費税	169,600	(貸) 仮払消費税	165,200
		未払消費税	4,400

仮受分と仮払分を相殺し、未納付分を計上する。

仮受消費税 169,600 - 仮払消費税 165,200 = 未払消費税 4,400

#### 7. 有形固定資産の減価償却

(借) 減価償却費	82,500	(貸) 建物減価償却累計額	82,500
-----------	--------	---------------	--------

建物(旧)  $(3,000,000 - 900,000) \div 30 \text{年} = 70,000$

建物(新)  $900,000 \div 30 \text{年} \times 5 \text{か月} / 12 \text{か月} = 12,500$

建物の減価償却：70,000 + 12,500 = 82,500

(借) 減価償却費	51,200	(貸) 備品減価償却累計額	51,200
-----------	--------	---------------	--------

備品の減価償却： $(400,000 - 144,000) \times 20\% = 51,200$

修正記入の減価償却費：建物減価償却 82,500 + 備品減価償却：51,200 = 133,700

#### 8. のれんの償却

(借) のれん償却	24,000	(貸) のれん	24,000
-----------	--------	---------	--------

当期の償却額：残高試算表のれん 144,000 × 12か月 / 72か月(※1) = 24,000

※1：72か月（平成26年4月1日～平成32年3月31日）

9. 支払利息の見越し

(借) 支払利息	1,800	(貸) 未払利息	1,800
----------	-------	----------	-------

$$300,000 \times 1.8\% \times 4 \text{ か月} (\ast 2) / 12 \text{ か月} = 1,800$$

※2 : 4 か月 (平成 26 年 12 月 1 日 ~ 平成 27 年 3 月 31 日)

10. 退職給付引当金の計上

(借) 退職給付費用	35,000	(貸) 退職給付引当金	35,000
------------	--------	-------------	--------

11. 支払保険料の繰り延べ

(借) 前払保険料	2,460	(貸) 支払保険料	2,460
-----------	-------	-----------	-------

$$\text{残高試算表支払保険料 } 4,920 \times 6 \text{ か月} (\ast 3) / 12 \text{ か月} = 2,460$$

※3 : 6 か月 (平成 27 年 4 月 1 日 ~ 平成 27 年 9 月 30 日)

## 第4問

- (1) 材料購入時：本社が購入代金を支払っているため、貸方に「本社」に処理する。

素 材	3,000kg×@800=	2,400,000	
補修用材料	100kg×@200=	20,000	
買入手数料		20,000	
		2,440,000	

- (2) 賃金の消費：

直接工	直接作業時間 2,760×1,500(賃率)=4,140,000	→	仕掛品
	間接作業時間 100×1,500(賃率)= 150,000	→	製造間接費
間接工	1,800,000－200,000+150,000=1,750,000	→	製造間接費

- (3) 材料の棚卸減耗：「材料」から、「製造間接費」に振り替える。

- (4) 製造間接費の配賦：直接作業時間を配賦基準として配賦するため、問題(2)の直接作業時間 2,760 時間を計上する。

予定配賦率：30,240,000÷33,600 時間=900

予定配賦額：900×2,760 時間=2,484,000

- (5) 完成品の計上：

製造直接費：問題文より	5,500,000
製造間接費：予定配賦率 900×2,250 時間	=2,025,000
	7,525,000

## 第5問

問1 損益分岐点の売上高

貢 献 利 益 率：貢献利益 2,000÷売上高 5,000×100%=40%

固 定 費：製造固定費 1,000+固定販・管費 800=1,800

損益分岐点売上高：固定費 1,800÷貢献利益率 40%=4,500

問2 400 万円の営業利益を達成する売上高

(営業利益 400+固定費 1,800)÷貢献利益率 40%=5,500

問3 現在の売上高が何%落ち込むと損益分岐点の売上高に達成する

(現在売上高 5,000－損益分岐点売上高 4,500)÷現在売上高 5,000×100%=10%

問4 売上高が 500 万円増加するとき営業利益

売上高 500×貢献利益率 40%=200

問5 損益分岐点の売上高を 100 万円引き下げるためには固定費をいくら引き下げる必要

貢献利益：100×貢献利益率 40%=40

貢献利益 40 万円を減少するため、固定費もこの分を引き下げる。